

放課後子ども教室推進事業実践市町村訪問

白石市訪問

訪問日：平成25年10月21日（月）

白石市の放課後子ども教室

白石市では越河、斎川、福岡小の3小学校区において放課後子ども教室を実施しています。各教室とも児童への学習支援や体験活動に、教室スタッフの皆さんが力を合わせ取り組んでいます。

生涯学習課長の古山さんにお話を伺ったところ、「子ども教室事業は大切な事業です。やる以上は長く効果がある事業にしたい。」とお話いただきました。また、市の課題として「スタッフが固定化・高齢化している。新たな人材発掘と研修会の持ち方を今後考えていきたい。」ともお話いただきました。

放課後児童クラブとの連携については、担当部課が異なることでなかなか上手くいかないところが多いが、今後具体策を検討していくとのことでした。

学校区	実施場所	運営スタッフ	活動時間	開設日数
越河小学校区 (登録児童37名)	越河小学校 体育館	コーディネーター 1名 教育活動推進員 1名 教育活動サポーター 5名	平日 13:30~16:00	40日 (うち休館日 0日)
斎川小学校区 (登録児童34名)	斎川小学校 体育館	コーディネーター 1名 教育活動推進員 1名 教育活動サポーター 5名	平日 14:30~16:30 休業日 9:30~11:30	45日 (うち休館日 15日)
福岡小学校区 (登録児童30名)	福岡公民館	コーディネーター 1名 教育活動推進員 3名 教育活動サポーター 5名	平日 14:00~16:00 休業日 9:30~11:30	50日 (うち休館日 4日)

☆☆☆ 斎川小学校放課後子ども教室 ☆☆☆



市中央公民館で情報交換をした後、斎川小学校放課後子ども教室を訪問しました。ちょうど「お茶会」が始まったところでした。急須で入れたお茶をみんなでおいしくいただいています。「温かいお茶を飲んで、気持ちを落ち着けてから活動に入ります。」とスタッフの方が話されました。家庭的で温かみを感じる一時でした。

お茶会の後、子どもたちは体育館に移動し自由遊びの時間です。元気にキックベースやバドミントンでからだを動かす児童、おもちゃで仲良く遊ぶ児童、活動はそれぞれですがスタッフの皆さんが温かく見守っています。

斎川小学校放課後子ども教室は、地域の「さい遊館」という団体が運営の中心となっています。代表の保科さんにお話を伺ったところ、「1年生から6年生の児童が互いにルールを決めて自由に遊ぶ活動が大事なんです。私たちは、ただ見守る活動に心がけています。」と話してくれました。「さい遊館」は放課後子ども教室事業の始まるずっと以前の平成12年度から学校支援に取り組んでいます。地域の学習素材を生かした「ころ柿教室」や「孫太郎虫観察」、「沢遊び」などの活動を放課後児童を集め行ってきました。「もう、年をとったので以前のように子どもたちと一緒に活動するのは難しくなってきました。」とお話がありましたが、これからは斎川地区の子どもたちのために頑張ってくれることを願っています。

斎川小では毎日昇降口前に集まり帰りの会を行います。この日は、学区内にイノシシが出たとの情報があり、6年生をリーダーに集団下校です。斎川小学校放課後子ども教室は、上級生が下級生の面倒をみることにより、社会性が養われ、子どもたちが安心して過ごせる放課後の居場所となっています。



スタッフさんが温かい
お茶を入れてくれます

スタッフさんが
子どもを温かく
見守ります！



ブロック遊びに
夢中です。

ルールはみんな決めて
仲良く元気に
キックベース！



6年生を先頭に
集団下校

☆☆☆「帰りの会」☆☆☆

今日はイノシシが出たそうです。
防犯ブザーはしっかり鳴りますか？

みんな気をつけて帰りましょう！

